

第 8 回 (2026 年度) 支援対象活動及び実施者等の計画書 (案)

1 榎野川河口干潟再生活動 2026

(1) 活動計画

団体名	榎野川流域連携促進協議会、干潟・水産資源再生ワーキンググループ、持続可能な里海づくりワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全、 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動、 <input checked="" type="checkbox"/> 活動等の広報及び啓発活動、 <input checked="" type="checkbox"/> 募金の運営・広報
活動目的	地域住民・企業・大学等のボランティアの協力を受け、アサリ再生活動等を実施し、干潟環境の改善を図るとともに、地域住民等の親水性の向上等に寄与する。 また、干潟や活動等の普及啓発を行うとともにふしの干潟いきもの募金に対する住民等からの寄附の促進を図る。
活動場所	榎野川河口干潟 (南潟)、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所
活動内容 ・計画	<p>2008 年度から南潟において住民参加型の干潟再生活動 (干潟耕耘等) を実施している。活動は、例年春にイベント形式で開催し、地域住民、企業、大学等の多くのボランティアの協力を受けている。2026 年度は以下のとおり実施する。</p> <p><イベントの概要></p> <p>(1) 春の干潟再生活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実施日：2026 年 5 月 2 日 (土) ● 場 所：榎野川河口干潟 (南潟)、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所 ● 主 催：榎野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所 ● 協 力：あいおいニッセイ同和損害保険(株)、あいおいニッセイ同和山口支店プロ会、(株)伊藤園山口支店、積水ハウス(株)山口工場、水産大学校、人間環境大学、山口大学 ● 参加者：200 人程度 (募集) ● 内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・榎野川の恵みを味わう試食会 (山菜の天ぷら) ・寄附付き商品の販売、募金活動 ・アサリ再生活動 (被覆網のメンテナンス、アサリ稚貝の保護・育成) ・生き物観察会 <p>(2) 秋の干潟再生活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実施日：2026 年 10 月～12 月 ● 場 所：榎野川河口干潟 (南潟) ● 主 催：干潟・水産資源再生 WG、持続可能な里海づくり WG ● 参加者：30 人程度 (募集) ● 内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・アサリ稚貝保全活動 (アサリ稚貝保全用網袋を開封・放流) ・生き物観察会

(2) 活動予算

申請金額	100,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い (100,000 円)		
支出予算	応募案内中の表 1 : ①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	印刷費・広告費	4,000	イベント配布資料 (200 部)
	保険料	6,000	ボランティアの傷害保険代 (春 : 5000 円、秋 : 1000 円)
	備品・消耗品費	30,000	ボランティア用の飲料 (100 円×300 本)
	備品・消耗品費	20,000	熱中症対策用の塩分タブレット等購入費 (100 円×200 人)
	備品・消耗品費	20,000	榎野川の恵みを味わう試食会準備費用
	備品・消耗品費	10,000	アサリ再生活動資材購入費
	備品・消耗品費	10,000	寄附付き商品購入費
	合計	100,000	

2 カブトガニ幼生生息調査・観察会

(1) 活動計画

団体名	カブトガニワーキンググループ、環境学習ワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング
活動名	カブトガニ幼生生息調査・観察会
活動目的	山口湾は、絶滅危惧Ⅰ類「カブトガニ」の産卵場・生息場として全国的にも重要な地域である。干潟におけるカブトガニ幼生の生息状況等を調査することで、生息や産卵に適した環境の再生・保全に寄与する。
活動場所	山口湾干潟（長浜・南潟）
活動内容 ・計画	<p><概要></p> <p>長浜及び南潟において、夏季の干潮時に年1回ずつ、県内外のボランティアや山口大学等の協力を受け、カブトガニ幼生の生息状況を調査している（平成20年度（2008年度）から継続）。今年度より、熱中症防止の観点から、9月中旬～10月上旬ごろの秋季にカブトガニ幼生生息調査を行う。</p> <p><調査方法></p> <p>調査は、ベルトランセクト法により実施する。調査者は、ライン上を歩きながら、発見したカブトガニの①個体数、②前体幅（齢数を推定するため）、③発見地点（GPSを使用）を記録する。南潟の調査は一般募集で実施し、長浜の調査は関係者20人程度で実施する。</p>

(2) 活動予算

申請金額	100,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い（100,000円）		
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	保険料	2,000	参加者の傷害保険代（20円×100人）
	備品・消耗品費	14,000	飲料（100円×140本）
	備品・消耗品費	30,000	アイススラリー等購入費（250円×120人）
	備品・消耗品費	4,000	調査用の事務用品、電池、冷却材等
	備品・消耗品費	20,000	生き物観察会用資材購入費
	備品・消耗品費	30,000	熱中症対策用資材購入量
合計	100,000		

3 アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催

(1) 活動計画

団体名	ブルーカーボンワーキンググループ
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング <input checked="" type="checkbox"/> その他、干潟等の保全・再生に関すること。
活動名	アマモの再生活動およびアマモ見学会の開催
活動目的	山口湾に存在するアマモ場についてその拡大を図るための調査および一般市民に見学会を実施する。
活動場所	山口県山口市秋穂二島（岩屋海岸）
活動内容 ・計画	<p><概要（予定）></p> <p>2026年4月 令和8年度第1回ブルーカーボンWG会議 2026年4,5月 マルチスペクトルUAVによる干潟被覆網・アマモ場の撮影 2026年5月16日 第3回山口湾アマモ観察会・花枝採取会 2026年6,7月 令和8年度第2回ブルーカーボンWG会議</p>

(2) 活動予算

申請金額	50,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い（50,000円）		
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	備品・消耗品	20,000	ドローンバッテリー
	旅費・交通費	20,000	瀬戸内海研究会議参加補助
	保険料	5,000	参加者の障害保険代
	備品・消耗品費	5,000	アマモ花枝設置用機材
合計	50,000		

4 榎野川河口域・干潟自然再生協議会の広報

(1) 活動計画

団体名	持続可能な里海づくりWG
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 活動等の広報及び啓発活動、 <input checked="" type="checkbox"/> 募金の運営・広報
活動名	榎野川河口域・干潟自然再生協議会の広報
活動目的	榎野川河口域・干潟自然再生協議会のHPを作成し、活動のアーカイブ等を一元化することで、地域の方々や外部の方々に協議会の取組を知ってもらう場を作る。
活動場所	—
活動内容 ・計画	<p><概要></p> <p>現在、協議会のHPは県と市で分けて作成している。地域及び外部の方々に周知していくためにも、協議会の取組を一元化したHPが必要であるため、各WGが更新できるHPを作成する。</p> <p>また、パンフレットの更新・増刷により、広報効果を高める。</p>

(2) 活動予算

申請金額	50,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 精算払い (50,000円)		
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	印刷費・広報費	50,000	HP作成費、パンフレット印刷費
	合計	50,000	